



陶板でできた立派な表彰状を、会場の皆さんへ披露する中村会長代理(右)。田中久さん(左)の手には副賞が！

下田南地区振興会だより 会報 小田床

■発行 第25号■
【発行責任者】
下田南地区振興会
会長代理 中村敬司
【連絡先】
下田南公民館
42-3612

天草市まちづくり大賞受賞

天草ふるさと家族便事業が最優秀賞を受賞

去る1月28日(土)、天草市民センターホールで、天草宝島づくり講演会が開催されるにあたり、「天草市まちづくり・地域づくり表彰」が合わせて行われました。そこで、天草まちづくり協議会推薦の下田南地区振興会「天草ふるさと家族便」が**まちづくり大賞**を受賞しました。

表彰式には、中村敬司振興会長代理、田中久さん、西嶋隆明さんらが出席。陶石でできた大きな表彰状を中川天草市まちづくり協議会連絡会長から授与。また、副賞として賞金5万円が贈られました。

表彰後は、西嶋隆明さん(天草ふるさと家族便プロジェクトリーダー)が、家族便事業の概要を説明し、「この完成されたシステムをどうぞ皆さんで利用してい



表彰後、家族便プロジェクトリーダー西嶋隆明さんの概要説明がありました。



西嶋さんの説明に、熱心に耳を傾ける参加者。

副賞の5万円は、家族便プロジェクト会議で使用方法が諮られ、なんと下田南地区振興会に寄付されることに！プロジェクト等「モノ」を購入し、振興会の財産として活用させていただきたいと思います。

ただきたい。」とPRを兼ねて地域ビジネスの大切さと市全体で取り組むことが重要であると呼びかけました。

この表彰式は、昨年度から始まり今年で2回目。天草市内の各地域で、それぞれの地域をより良くしようとする団体を表彰することで、地域づくりへの情熱や思いを高め、豊かで活力ある地域づくりを構築することを目的として開催されているものです。

この栄誉ある賞を受賞できたということは、下田南地区の方々の日々の頑張りが認められた結果だといえます。大賞受賞は、下田南地区住民の皆さんの誇りであり、天草町に住む私たち全員にとっても大変な誇りとなりました。関係者の皆さん、おめでとうございます！



平成24年 天草町成人式

成人おめでとう



↑当日出席された、松本健史さんと瀧崎沙織さんが仲良く2ショット！（＾＾）

1月3日、高浜公民館で天草地区成人式が開催され、新成人38人の出席者が二十歳の門出を祝いました。下田南地区の成人者4名の皆さん、おめでとう！



↑今年は、入口武宣さんが火入れ人！
←お餅を焼く藪本さん。醤油砂糖をつけても美味しい焼き餅は皆で食べると格別

1年の家内安全、健康を祈願しながら、温かいぜんざいに舌鼓を打ちました。

おねっぽっぽを開催！

1月8日（日）、旧下田南小グランドでおねっぽっぽ（鬼火焼）を開催しました。おねっぽっぽ事業担当の地域づくり部会では今年もぜんざいを用意。集まった人たちは寒天の下、今年



～春風に乗ってゆったり散策？！～

3月11日（日）、春を感じるほかほか陽気の中…とはいかず、北風が吹くとってもさむい天候となりましたが、今年度最後の振興会行事となる「下田南ウォーキング大会」を開催しました！コースはお馴染みとなりました、ゆったりコースとはりきりコースをご用意。今年も参加者は、ほぼ地元の方だけでしたが、子どもから高齢者まで、60数名の参加者が思い思いに楽しく散歩されていたようです。ゆったりコースでは、おばあちゃんたちやお父さんお母さんたちと一緒に手をつないで歩く子どもたちが菜の花畑とマッチして、寒空の中ではありましたがほのぼのした雰囲気を感じ、見ていてなんだかとても温かい気持ちとなりました。皆さんケガもなくゴールでき、無事に今年度最後の行事を終了することができました。来年は天候も温かければいいなあ…ウォーキング大会へ参加していただきました皆さん、それからスタッフの皆さん大変お疲れ様でした！

【鬼海広明】

下田南ウォーキング大会



卒業おめでとう

下田南小学校

母からの手紙



千紗さん、幸星くん、卒業本当におめでとう。

無事に卒業できること、お父さんお母さんととても嬉しく思います。

↑3月23日（金）、南小体育館で卒業式が執り行われました。写真は校歌斉唱の様子。

2人にとって、下田南小学校で過ごした6年間、どうでしたか？

天草市になり、初めての1年生。上級生の皆さん、先生方、そして何より地域の方々に本当に温かく迎えていただいたこと。感謝の気持ちでいっぱいでした。

色々な行事の中で、地域の方々にたくさんお世話になったこと、いつまでも忘れないでください。

2人は入学当時からとても仲良く、勉強も頑張ってくれました。

千紗さんは、とても落ち着きのあるお姉さんタイプ。

幸星は、運動面、その場の盛り上げ役を頑張ってくれ、そのバランスが良かったのか2人とも良きライバル、友達として6年間一緒に仲良く過ごせたと思います。

中学生になったら、今まで以上に色々なことがあるでしょう。

南小で学んだことを思い出し、これからも人一倍努力し、2人とも自分の夢に向かって成長してもらえればと願っています。

最後に、6年間たくさんの先生方に変なお世話になったこと、いつまでも忘れないでください。

千紗さん、幸星くん、今までたくさんの感動をありがとう。

【西岡禎子】



↑式典後、卒業生を挟み全員で記念撮影。先生も、生徒も、卒業生も、地域の方もみんな一緒に！みんな家族ですね(^^)



↑中学生になっても2人は仲良しだね！千紗ちゃん幸星くんナイス笑顔！

平成23年度も終わり、いよいよ閉校まで11ヶ月余りとなりました。

昨年11月より地区の各団体代表者にお集まりいただき、閉校記念事業実行委員会の準備会議を重ね、2月2日には下田南小学校閉校記念事業実行委員会設立総会、同月13日には第1回目の運営委員会を開催するに至りました。3月には、委員会の中で設置した各部会、記念式典部会、記念碑建立部会、記念誌編集部会の打合せも実施されており、たくさんのご意見が出てきました。また、時同じく、大同窓会の打合せも行っており、地域の皆さまには現在、名簿集め等、本当に忙しく立ち回っていただいております。思い出がたたくさん詰まった南小に閉校の幕を下ろすため、地域の皆さん全員がひとつの目標に向かって今前進しています。

名簿づくりにつきましては、住所等の個人情報等の保管等、実行委員会が責任を持って取扱います。地域の皆さまはもとより、南小卒業生で出郷者の皆さまのお力添えが今後益々必要となります。地域一丸となって、今後とも進めて参りますので皆さんの尚一層のご協力をお願いします。

閉校記念事業実行委員会設立

「全国薬草シンポジウム2012in玉名」へ参加してきました!



↑白鷺荘別館5Fの会場。入口では、地元小岱山薬草の会員が土筆の“炒りモノ”を来場された皆さんへ振る舞っていました。



↑村上光太郎教授。薬草について、時には冗談を交えながら、分かりやすくご説明いただきました。

2月18日(日)、役員研修会の研修先として、玉名の白鷺荘別館で開催された、「全国薬草シンポジウム2012in玉名」に参加してきました。目的は、なんといっても薬学博士・村上光太郎教授(崇城大学)の基調講演「地球は大きな薬箱」薬草で村おこし、健康おこし」を聴くこと。基調講演の他に、パネルディスカッションもあり、村上教授と関わる「薬草で地域づくり」をされている方々の、薬草と関わるまちづくりについての話がありました。

村上教授は、「一般に市場に出回る野菜も、“薬草”である。しかし、残念なことは、野菜の単価を下げるため(売るため)、見栄えをよくするためだけに野菜が作られていること。一番大事

な事は、ミネラルを十分に含んだ野菜が作られ、家庭で食べられること。今の野菜では、人間が病気になる野菜であるというところを理解してもらいたい。ミネラルを十分に含んだ野菜を作るには、最も重要なことが、土壌を作るといことである。」と述べられました。どのような畑(土壌)が良いのか?については、色々な話がありました。が、「落ち葉、草などを多量に入れた土地」が良いというお話をされ、そういえば、下田南地区には堆肥事業で製作している堆肥(腐葉土)がある!と思いました。このことを皆に知ってもらえたら優良堆肥のPR(販

促)に使えるのではないかと思います。(実際に堆肥を使用していたという方から土壌づくりにおいて好評をいただいております。)

他、一般的な「薬草」についての話しは、時間の都合上、あまり聴けませんでした。地域にある松やハトムギ、ムカゴやボウフウ、オオバコなどは健康に良いとされる一方で、地域ビジネスの家族便やブルーガーデンの「商品」として、研究の余地があるなど感じました。とにかく、ビジネスにつながるきもちもたいたくないお話でした。



↑パネルディスカッションの風景。飛騨市役所の野村課長補佐が発表されています。このようなシンポジウムや地域間の交流を密接に行い、食についての健康づくりが行われていけば幸いです。玉名宣言「薬草交流を続け健康づくりを家庭から始めよう」が採択されました。

小田原情報板

4月

- 9日(月)・・・小学校始業式
- 10日(火)・・・小・中学校入学式
※下田南地区振興会総会
日時は未定
- 28日(土)～5月6日(日)
・・・春の陶器市(GW)
- 29日(日)・・・ジャガジャガ祭予定
(大江お万ヶ池公園)

5月

- 12日(土)・・・国際交流の祭典
(天草市民センターホール)
- 12・13日(土・日)
・・・下田温泉祭

編集後記

◆田んぼに水が張られました。大地も眠りから覚め、躍動をはじめます。卒業のシーズンです。

◆新聞紙上には学校の閉校式の記事が連日のように掲載されています。わが母校、下田南小学校も来年、長い歴史に幕を下ろします。今、閉校記念事業実行委員会の方々により、着々と準備が進められています。ぜひ、多くの方に参加していただきたいものです。問題はその後です。誰もいなくなり、残る立派な校舎。その活用方法はあるのか。どうやることを知らぬ過疎化...何か物憂い春の日です。【野口眞澄】

天草宝島移住・定住システム創造事業

昨年7月、市の指定を受け取り組んだこの事業も、今年3月をもって終了します。2月のアンケート調査も地域住民向け、出郷者向けと2種類に分けて実施させていただきましたが、この程、委託先機関から調査結果が報告されたところです。この調査結果につきましては、振興会会議及び誌面等にて皆さまに報告させていただきたいと思います。どんどん加速を増していく過疎化の波に歯止めをかけるべく、地域一丸となってこの問題に取り組んでいきましょう。